

課題の年次推移

※データは年度別(年度末)

○従業員

従業員数

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員数	従業員数計	人	519	567	543	593	619	647	680
従業員年齢	平均年齢	歳	43.3	43.1	42.8	42.3	42.4	42.3	42.7
管理職数	管理職数	人	70	71	76	78	77	73	75
	男性		67	68	73	75	74	69	71
	女性		3	3	3	3	3	4	4
	(女性比率)	%	4.29	4.23	3.95	3.85	3.90	5.48	5.33
障がい者雇用率	年度平均	%	1.85	1.49	1.15	1.66	1.76	1.72	2.10

宇部物流サービス株式会社(UBR)はUBE株式会社の100%子会社で、UBE株式会社およびUBRグループ会社の生産物流、製造・加工、分析の各業務を担っています。UBRの拠点は、UBE化学部門の3工場である宇部ケミカル工場、堺工場、千葉石油化学工場にそれぞれあります。

UBRでは、UBE株式会社及びUBEグループの業務拡大などに伴って、従業員数が増減します。最近では業務拡大に伴い現在は堺事業所の人員が増えてきており、今後、宇部事業所を超えることになりそうです。

UBRは女性が活躍する職場が多く、女性の社員割合は2023年度25.7%であり、管理職における女性比率も5.3%となっています。これを今後それぞれ女性社員割合28%、女性管理職割合5.6%を目標に設定しています。

また、UBRは中途採用者の割合が多いので平均年齢は42-3歳で推移しています。

○採用

採用

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
採用人数	採用人数	人	34	62	60	40	62	60	69
	男性		17	51	50	24	47	46	54
	女性		17	11	10	5	15	14	15
	(女性比率)	%	50.0	17.7	16.7	12.5	24.2	23.3	21.7
3年後定着率	3年後定着率	%	85.7	82.4	70.7	46.5	90.8	71.4	72.2
離職率	離職率	%	6.0	9.0	6.6	2.7	6.2	4.1	5.4
平均勤続年数	平均勤続年数	年	10	10	9	10	10	10	10

UBEグループの業容拡大に伴い、毎年の採用者数は全社員の約1割程度で推移していましたが、2023年度は急激に採用者数が増えています。これは主にUBE堺工場の業務拡大に伴う、堺事業所の人員採用によるものです。

UBRは中途採用者が多く、早期離職者が一定程度ある状況です。2020年度よりUBR式教育訓練体系を構築し、2022年度より本格運営してきており、また、2022年度より健康経営を推進してきていますが、これらも定着率を上げることが期待効果の一つとしてあり、最近の入社応募者で、健康経営に対する期待を示されている方が多くみられるようになりました。今後、定着率向上への期待が膨らみます。

定着率や離職率については、今後、2021年度から行ってきた UBR 式教育訓練体系の整備や、管理職へのエンゲージメント教育や 1on1 コミュニケーション教育、そして 2023 年度から実施しているフォローアップ研修などの成果が出てくるものと期待しています。

なお、UBR 式教育訓練体系は 2025 年度から始まる次期中期経営計画に向けて、教育カリキュラムの見直しなどを実施していく予定です。

○労働

労働

項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
年間総実労働時間	時間	914,179	934,183	981,989	1,020,701	1,036,378	1,163,766	1,145,102
月平均残業時間数	時間/人	10	10	8	7	7	7	8
年次有給休暇取得日数	日/人	11.8	12.3	13.2	15.0	12.9	15.9	16.4
年次有給休暇付与日数	日/人	17.1	16.3	16.4	16.7	16.8	18.8	18.8
年次有給休暇取得率	%	69.0	75.5	80.5	89.8	76.8	84.6	87.2
労働基準法違反件数	件	0	0	0	0	0	0	0

2019 年 4 月に労働基準法の改正により、年 10 日以上 of 年次有給休暇が付与される労働者(管理監督者を含む)に対して、年次有給休暇の日数のうち年 5 日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。

UBR では以前より、平均的には 10 日以上 of 年休取得はされていましたが、個人を見ると年休を全くとっていない人もおられるなど取得にはかなりの偏りがありました。これには年休をとると仕事が止まってしまうなどの職場による事情がありました。

このなかで UBR では働き方改革…最近ではライフワークバランスの取り組みのなかで、残業時間の削減や年休取得の行いやすい環境づくりとして、休んでも他の人が業務を行える体制づくりに取り組んでまいりました。

具体的には属人化業務の廃止のために業務の洗い出しと、作業手順書の整備の推進、そして多能工化による業務の相互補完などの実施などを行っています。そのため 2019 年 4 月の法改正後の対応もスムーズに行うことができました。

また、2022 年度より管理職の目標管理に年休取得 14 日以上というものを取り入れて、より年休が取りやすい環境づくりを行っています。最近では業務の相互補完が進んだ部署において、一般従業員においても、チームの目標に年休取得 14 日以上を掲げるチームも出てくるなど、その定着化が進んでいます。さらに定着化を図るため、2024 年度は年休取得 15 日以上を全社員の目標とすることになりました。

○労働安全

労働安全

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
死亡災害件数	社員	件	0	0	0	0	0	0	0
	協力会社		0	0	0	0	0	0	0
休業災害人数	社員	件	3	0	0	1	0	0	0
	協力会社		0	0	0	0	0	1	0
不休災害人数	社員	件	2	1	4	1	0	0	4
	協力会社		0	0	0	0	0	0	1
労働災害度数率	休業災害度数率		1.63	0.00	0.00	0.56	0.00	0.55	0.00
	不休災害度数率		1.09	0.55	2.19	0.56	0.00	0.00	2.71
	設備災害件数	件	0	0	0	1	0	0	0
	年間総実労働時間	時間	1,835,983	1,802,441	1,824,292	1,790,205	1,759,096	1,827,985	1,845,389

UBR は労働災害がなかなかゼロにできないという状況を打破するために、「凡事徹底」、そして「当たり前のことを当たり前」というキーワードをベースに UBR 式教育訓練体系と名付けた教育体系を構築し、2021 年度より教育を実施してきました。

2021 年度は無事故無災害となりましたが、残念ながら 2022 年度は 1 件の休業災害が発生し、2023 年度は休業災害はゼロを達成できましたが、不休災害が 5 件となりました。それぞれの発生原因をなぜなぜ分析で追及し、水平展開できる部分は水平展開を行い、2024 年度は完全無災害を目指します。

○両立支援

両立支援

項目	項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
育児休職取得者数	取得人数	人	5	7	4	5	10	11	21
	男性		0	0	0	0	2	4	16
	女性		5	7	4	5	8	7	5
育児休職取得率	男性	%	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	114.0
	女性		100	100	100	100	100	100	500
育児休職平均取得日数	男性	日	0	0	0	0	21	23	25
	女性		121	104	155	116	109	91	199
育児休職復職率	男性	%	100	100	100	100	100	100	100
	女性		100	100	100	100	100	100	100
産前産後休業取得人数	女性	人	3	4	2	7	6	5	1
子の看護休暇取得者数	取得人数	人	38	29	29	38	20	45	65
介護休職取得者数	取得人数	人	0	0	0	0	1	1	0
介護休暇取得者数	取得人数	人	0	0	0	0	0	10	22
育児・介護短時間勤務利用者	取得人数	人	1	4	6	5	7	3	5

UBR には多くの女性が活躍している職場が多くあり、育児休職後の復職率は 100%で、非常に働きやすい職場環境となっています。ここでも相互補完を支える多能工化などが生きています。

女性の育児休暇取得率は、100%を継続しており、男性の取得率も増加傾向にあり、2023 年度は 100%となりました。

子の看護休暇や、介護休職や介護休職そして育児・介護短時間勤務など制度も充実化してきており、取得率も年々増加してきています。

○健康

重点課題	項目	単位	目標値	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
検診結果を活用した脳・心疾患リスクの把握と有所見率の低減	定期健康診断受診率	%	100%	100	100	100	100	100	100	100
	精密検査受診率		対前年度以上	100	100	100	100	100	100	100
	UBE基準ハイリスク者比率		対前年度以下	5.4	7.2	5.0	6.3	6.4	6.6	6.9
検診結果を活用した悪性新生物の早期発見、早期治療	がん検診項目二次検査受診率	%	対前年度以上	100	100	100	100	100	100	100
ストレスチェック結果を活用した職場改善活動の推進	ストレスチェック受診率	%	95%以上	98.3	97.5	97.4	98.0	99.0	98.7	99.1
	総合健康リスク値120以上の部署（部署数）	部署	対前年度以下	8	7	8	8	10	7	4
	ストレスチェック高ストレス者 ^{*1} 比率	%	対前年度以下	15.9	14.5	13.1	11.7	12.6	13.4	13.2
長期休務・休職者の削減	新患発生率	%	対前年度以下	1.10	1.71	0.35	0.83	1.01	1.44	2.13
	メンタル強度率		対前年度以下	1.31	1.34	0.73	0.84	0.69	0.87	1.13
	復職率		50%以上	29.3	64.6	10.0	60.0	47.6	46.0	45.9
受動喫煙ゼロ	喫煙率	%	(2024年度) 20%以下	35.6	31.1	32.9	26.9	28.7	25.3	24.3
その他健康指標（対象：健康診断受診者全年齢）	適正体重の比率	%	対前年度以上	68.5	65.3	68.2	65.4	63.4	63.3	64.8
	運動習慣ありの比率 ^{*2}		対前年度以上	24.9	26.3	26.8	25.1	34.5	28.9	36.9

*1) 厚生労働省のストレスチェック指針（平成30年8月改定）に該当する高ストレス者

*2) 運動習慣あり：1週間に2回以上、1回当たり30分以上の運動をしている人

UBRは健康診断受診率は100%であり、2次検診受診率（精密検査受診率）も100%を維持しています。従業員ご自身の健康に対する真摯な対応もありがたいことですが、管理職による受診勧奨の効果も少なからずあるのが現状です。

2023年度は健康経営宣言書を発出して初めての健康診断でした。従業員のみなさんの健康志向はさらに高まっていることが結果からも見て取ることができます。

ストレスチェックについても高い受診率で、今回99.1%と過去最高値となりましたが、まだ100%にはなっていないため今後さらなる働きかけや意識啓蒙が必要と思っています。

アンケート結果にもありますが、メンタル系でアブセンティズムとプレゼンティズムを悪化させている方が全体の半分以上おられることを見ても、UBRとしてこのメンタルについての取り組みが必須と考えています。

喫煙についても受動喫煙については、喫煙場所の設定や勤務時間中の喫煙禁止などUBEグループの方針に則り進めてきていますが、喫煙率は徐々には低下しているものの、まだ高い数値で推移していますので、これも今後取り組むべきテーマの一つです。2022年度から若年層への禁煙講座を対象者全員に受講していただきました。これについては新入社員を対象にした教育に組み込むことで今後も継続する予定です。

健康経営を進める中で、この喫煙の問題は避けては通れない道です。これから寿命延長が進んでいく中で、従業員の健康寿命を如何に伸ばしていくかが重要となります。喫煙問題に対し、UBRとして2024年10月1日を目途に構内全面禁煙とする予定で関係各所と調整中です。

適正体重の比率は63%程度で推移しています、2022年度運動習慣ありの比率が下がっていましたが今回増加方向に転じており、過去最高値となっています。これを健康への行動変容の現れであるとして、今後さらにウォーキングラリーや健康行動の成果の評価キャンペーン、またホームページへの健康コラムの掲載や健康情報（会社の補助制度など）や健康アプリのご紹介などを行い、個人の行動変容を促す情報提供を行っています。

○健康経営に関する認知度

健康経営に関する認知度

項目	2024年度目標値 (同UBEグループ)	2022年11月調査	2023年3月	2024年3月
健康経営に関する認知度	90%	84.0%	90.6%	96.2%

アンケートの結果で2022年11月時点で84%の認知度でした。今回3月のアンケートでは96.2%とUBEグループの目標の90%を大幅に超えています。

認知度的には全員参加の健康経営となってきています。

○マネジメントシステム取得状況

労働安全衛生マネジメントシステム

会社	事業所	OSHMS	取得年月	登録機関
宇部物流サービス(株)	本社 ^{※1)}	ISO45001	2011年3月	LRQA リミテッド
	宇部事業所 ^{※1)}			
	堺事業所・名古屋営業所 ^{※2)}	ISO45001	2012年3月	LRQA リミテッド
	千葉事業所 ^{※3)}	ISO45001	2006年4月	日本化学キューエイ株式会社

※1) UBE株式会社 宇部ケミカル工場の認証範囲に含まれています、

※2) UBE株式会社 堺工場の認証範囲に含まれています、

※3) UBEエラストマー(株)千葉工場の認証範囲に含まれています、

環境マネジメントシステム

会社	事業所	OSHMS	取得年月	登録機関
宇部物流サービス(株)	本社 ^{※1)}	ISO14001	2000年3月	LRQA リミテッド
	宇部事業所 ^{※1)}			
	堺事業所・名古屋営業所 ^{※2)}	ISO14001	2000年2月	LRQA リミテッド
	千葉事業所 ^{※3)}	ISO14001	1999年7月	日本化学キューエイ株式会社

※1) UBE株式会社 宇部ケミカル工場の認証範囲に含まれています、

※2) UBE株式会社 堺工場の認証範囲に含まれています、

※3) UBEエラストマー(株)千葉工場の認証範囲に含まれています、